

## 佐世保市立三川内中学校「特色ある学校づくり推進会」活動報告

### <テーマ>



### <目的>

1 生徒の自主性を育てる“環境づくり” 2 地域の特色を生かした“地域学習” 3 命の教育を含めた“キャリア教育”を進める中で子供たちが良き社会の担い手となるようにその実践力を身に付けさせることを目的として活動を行った。

#### 1 生徒の自主性を育てるための 環境づくり

##### ○学習状況調査

4月に生徒の学習へのレディネスを調べるために、また生徒自身にも意識付けを行うために、5教科の学習調査を行った。前年度の振り返り、自己の学習の状況を判断することができるので効果的であった。

##### ○Iチェックの実施

5月に取ったIチェックがどのように変容しているのか確認するために2回目を実施した。生徒の心の状況の変化を確認することができ、学級経営、生徒理解に有効であった。

#### 2 特色を生かした 地域学習

##### ○地域に根差した陶芸活動

三川内地区の伝統ある産業である窯業の体験活動を三川内窯業組合にお願いをして講師を招致し作陶の指導をしていただいた。また、昨年度までの反省を生かして窯焼成の時にも地域の陶芸家の方に来ていただき、焼き方を指導していただいた。その協力のおかげもあってしっかりと焼き上がりで終わることができた。

##### ○三川内コスモスさんぽへの参加

三川内地区自治協議会の主催である「三川内コスモスさんぽ」への参加を行った。たくさんの方に三川内中学校の活動を知っていただくためにブースを作り、中学校の様子を生徒主体でアピールすることができた。その際、PTAからも協力をいただき、たくさんの方と協働で進めることができた。

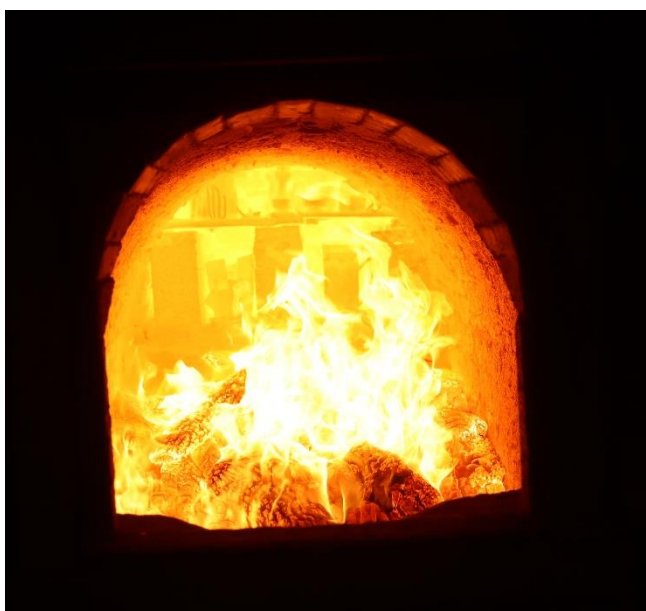
<窯活動の様子>  
(窯づめの様子)



(薪を上手に投げ入れているところ)



(1000度以上の窯の中)



(交代で窯の番を行います)



(夜には煙突から炎が立ち上ります)



(今年の焼き上がりは最高でした)





<みかわちコスモスさんぽの様子>

(手作りの看板)



(生徒はボランティアで参加しました)



(コスモス一面の様子)

(商談中です)



(たくさんの寄付もいただきました)



### 3 キャリア教育

#### ○ キャリア教育

1年生(職業講話2回)、2年生(職場体験学習)、3年生(福祉体験)、全学年共通(マナーアップ講座)で外部から講師を依頼し、講話をいただいた。その中でそれぞれの立場の方のお話を聞き、また、様々な体験活動を行う中で、学年に応じた力を身に付けることができた。

(職業講話1年生)





(職場体験 2年生)



(福祉講話 3年生)



(マナー講座)



## 活動の成果

### ○「生徒の自主性を育てる環境づくり」

「生徒の自主性を育てる環境づくり」に関する学校評価の1回目と2回目の結果を比較するとこのような結果が見られた

学校評価の項目		1回目	2回目	変化
生徒は毎日の家庭学習の習慣が身につけている	職員	2.70	2.78	+0.08
	生徒	3.33	3.18	-0.15
	保護者	2.96	2.97	+0.01
生徒は好ましい友人関係があり、楽しく登校している	職員	3.27	3.20	-0.07
	生徒	3.41	3.54	+0.13
	保護者	3.42	3.35	-0.07

この結果から、大きな数値の変化は見られなかったが全体的に友人関係は良好で楽しく登校できていると考えられる。一方で家庭学習については評価が3を下回っているのでこれからの改善の余地が十分にある。

### ○「地域の特色を生かした地域学習」

作陶活動を含め、「地域の特色を生かした地域学習」に関する学校評価の1回目と2回目の結果を比較すると以下のような変化が見られた。

学校評価の項目		1回目	2回目	変化
学校は、生徒や地域の特性に合わせて、特色ある教育活動を行っている。	職員	3.75	3.91	+0.16
	生徒	3.52	3.64	+0.12
	保護者	3.48	3.41	-0.07
学校は、地域と協力しながら生徒を育てる活動を行っている。	職員	3.82	3.82	+0
	生徒	3.45	3.49	+0.04
	保護者	3.46	3.51	+0.05

この結果から、全体的に大きな変化は見られなかったが高い数値を示している。生徒、保護者、職員が地域とともにあると自覚している証であると考えられる。

### ○「いのちの教育を含めたキャリア教育」

キャリア教育については、講話、体験学習を多く設定することにより、生徒が実体験を通して深く他の生徒と協働的に学ぶことができていると考えられる。おかげで学年に応じた力が身に付けることができた。今後も、体験活動、講話等を効果的に実施できるように計画していきたい。